

空知信用金庫・第144回地域企業景気動向調査

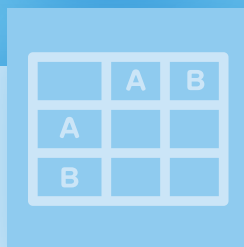
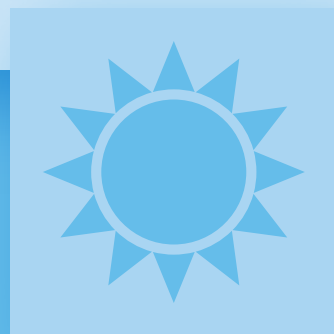
景況レポート

2022.7

このレポートは、空知信用金庫が岩見沢・美唄・三笠・栗山・由仁・長沼・南幌・江別に所在の地元企業のご協力により、令和4年4月～6月の景気の現状と令和4年7月～9月の見通しを調査したものです。

令和4年7月末日

空知信用金庫・地域支援部
岩見沢市3条西6丁目2番地1
電話(0126)22-1171



第144回 地域企業景気動向調査要項

1. 調査地域

若見沢市・美唄市・三笠市・江別市・栗山町・長沼町・南幌町・由仁町

2. 調査対象期間

令和4年4月～令和4年6月期（実績） 令和4年7月～令和4年9月期（予想）
令和4年5月26日～6月7日に実施

3. 調査の方法

面接・聞き取りによる調査

標本（調査対象企業）の抽出法としては、標本の業種・規模等の基本属性が、母集団（当金庫融資取引先）の属性に見合う基準にもとづく、有意抽出法によるもの。

4. 業況判断指数

D・I値による判断

D・Iとは？ Diffusion Index（ディフュージョン・インデックス）の略
企業の業況判断等を指数化したものであり、景気動向の方向性を示したものの。
D・Iが高ければ好景気、低ければ不景気であると判断できます。

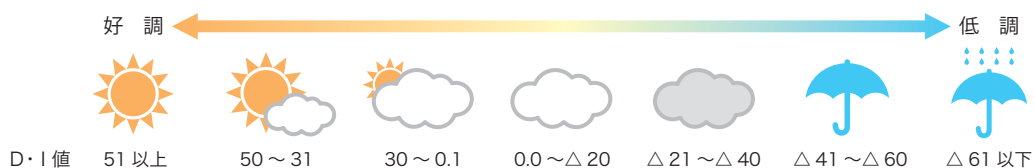
D・I値 = 「増加・やや増加・上昇の割合」 - 「減少・やや減少・下降の割合」

5. 調査対象企業数・有効回答数の内訳

区 分	調査対象企業	有効回答数	有効回答率(%)
製 造 業	24	23	96
卸 売 業	14	14	100
小 売 業	57	55	96
サ ー ビ ス 業	32	30	94
建 設 業	43	43	100
不 動 産 業	7	7	100
運 輸 業	17	17	100
農 業	28	27	96
計	222	216	97

6. 天気図の見方

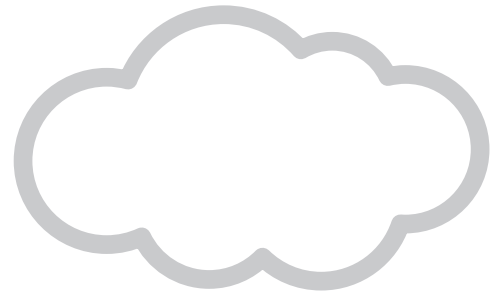
景気指標を総合的に判断して作成



7. 特別調査

「コロナ、原材料価格高騰、海外情勢の緊迫化を受けて」

総 合



概 況

仕入価格高騰、価格転嫁が喫緊の課題に

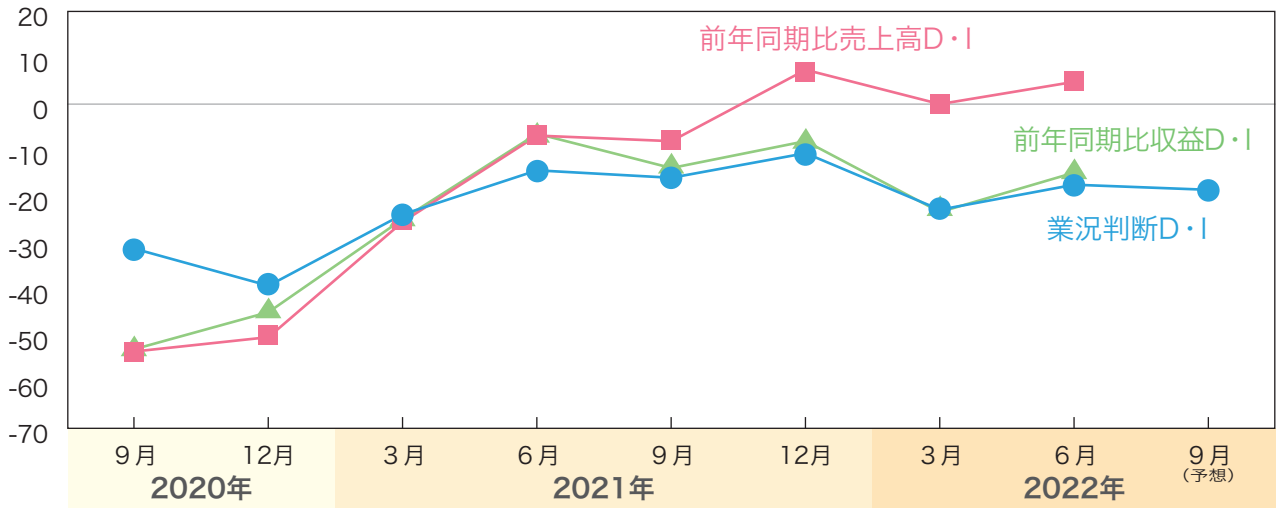
今期の業況判断指数(D・I値)は、△17.4と前期(1月～3月)より5.4ポイント改善したものの、マイナス圏に止まりました。サービス・運輸・製造・卸売・小売業で上昇、他の3業種で下降しました。売上高D・Iは4.8と前期比4.8ポイント改善。収益D・Iも△14.8ながらも同8.5ポイント改善され、原材料価格等の上昇に対し、価格転嫁を実現している傾向にあると思われます。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	△14.3	△22.8	△17.4	△18.5
売上高D・I	△6.8	0.0	4.8	—
収益D・I	△6.4	△23.3	△14.8	—

来期の見通しについて

来期の予想業況判断指数(D・I値)は△18.5で今期実績比1.1ポイントの小幅下降の見通しです。業種別では、8業種中、サービス・製造業で下落、残りの6業種で横這いまたはやや改善の見通しです。国際情勢の悪化が原材料価格の上昇に拍車をかけており、下振れリスクの不安が続いています。

主要指標の推移



前期比D・Iの推移

○販売価格D・I

	前年同期	前 期	今 期	見通し
製 造	4.4	39.1	26.1	39.1
卸 売	14.3	42.9	50.0	64.3
小 売	3.6	36.4	40.0	27.3
サービス	△6.7	10.0	30.0	23.4
建 設	14.0	34.9	34.9	30.3
不動産	△14.3	14.3	0.0	△14.3
運 輸	5.9	17.6	△5.9	11.8
農 業	△18.5	△11.1	11.1	14.8

※サービス業は料金価格、建設業は請負価格、運輸業は料金単価、農業は販売単価。

○仕入価格D・I

	前年同期	前 期	今 期	見通し
製 造	43.5	73.9	73.9	56.6
卸 売	28.6	71.4	64.3	57.2
小 売	14.6	60.0	52.7	38.2
サービス	3.3	36.7	66.7	56.7
建 設	30.2	81.4	74.4	67.4
不動産	—	14.3	28.6	0.0
運 輸	58.8	100.0	58.8	35.3
農 業	7.4	48.1	66.7	51.9

※製造業は原材料価格、サービス業・建設業は材料価格、運輸業は燃料価格、農業は生産資材等価格。

○人手過不足D・I

	前年同期	前 期	今 期	見通し
製 造	△39.1	△26.1	△21.7	△21.7
卸 売	△14.3	△42.9	△35.7	△35.7
小 売	△25.5	△14.5	△16.4	△20.0
サービス	△16.7	△30.0	△40.0	△40.0
建 設	△32.6	△27.9	△41.9	△44.2
不動産	△14.3	△14.3	0.0	0.0
運 輸	△52.9	△52.9	△52.9	△58.8
農 業	-	-	-	-

○残業時間D・I

	前年同期	前 期	今 期	見通し
製 造	0.0	△17.4	△4.3	4.4
卸 売	7.1	-	-	-
小 売	△9.1	△3.7	△9.1	△10.9
サービス	0.0	△3.4	13.4	3.3
建 設	11.7	4.7	2.3	4.6
不動産	-	-	-	-
運 輸	0.0	0.0	△11.8	5.9
農 業	-	-	-	-

○借入金の動き・難易度

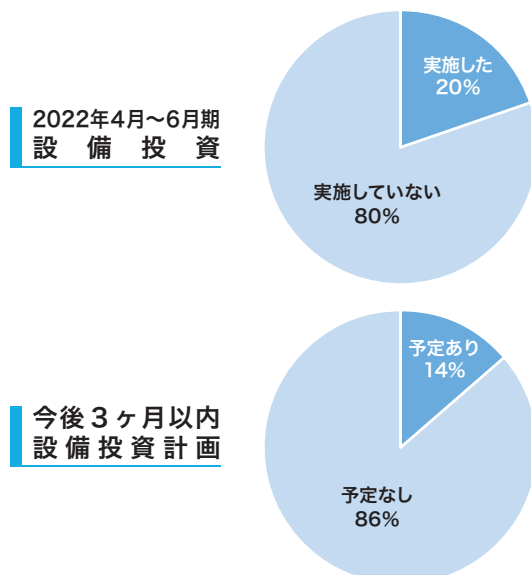
(%)

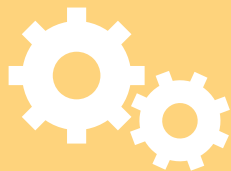
	借入金の実施	借入金の予定	民間金融機関からの借入難易度			
	し た	あ る	容 易	変わらない	難 しい	該 当 な し
製 造	17.4	17.4	8.7	65.2	17.4	8.7
卸 売	35.7	7.1	35.7	64.3	-	-
小 売	20.0	9.1	1.8	78.2	7.3	12.7
サービス	26.7	20.7	6.7	76.7	3.3	13.3
建 設	23.3	18.6	27.9	58.1	7.0	7.0
不動産	-	14.3	14.3	71.4	-	14.3
運 輸	35.3	17.6	17.6	64.7	11.8	5.9

○設備投資の動き

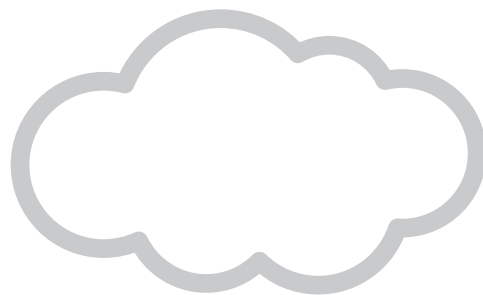
(%)

	前年同期	前 期	今 期	実施予定
製 造	17.4	4.3	13.0	13.0
卸 売	7.1	28.6	21.4	7.1
小 売	5.5	7.3	12.7	9.1
サービス	13.3	3.3	23.3	20.0
建 設	7.0	9.3	23.3	14.0
不動産	-	-	-	-
運 輸	17.6	11.8	35.3	23.5
農 業	7.4	7.4	11.1	11.1





製造業



概況

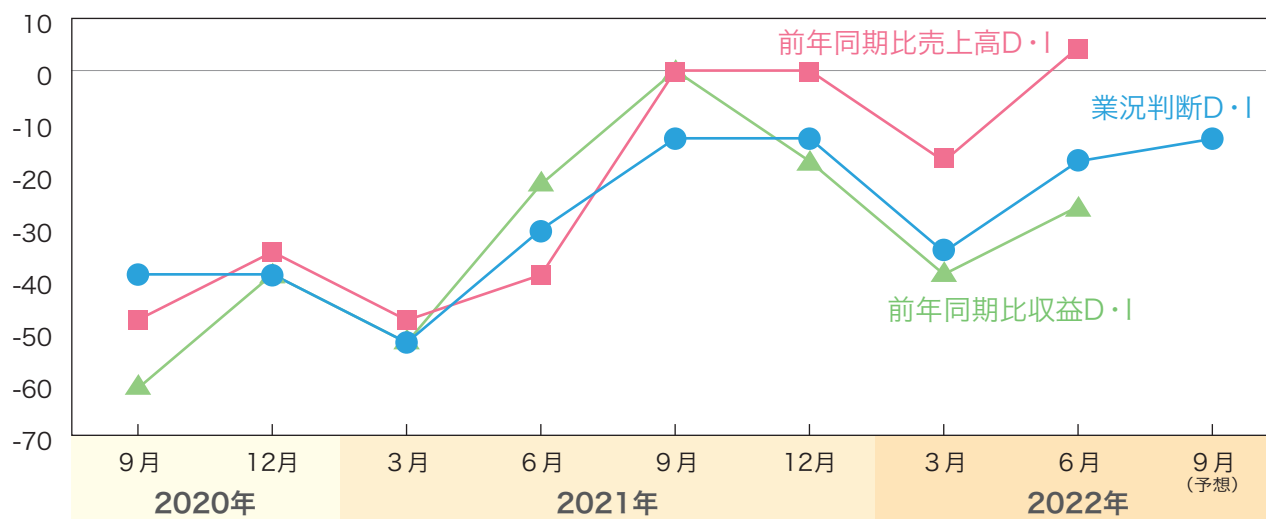
今期の業況判断指数（D・I値）は、△17.4と前期（1月～3月）に比べ17.4ポイント改善しました。要因は、食料品製造・印刷・出版業でマイナス圏ながら大幅な改善によるもので、他の各業種では前期並みの低水準に止まっております。売上D・I値もプラスに転じ、収益D・I値も13.0ポイント好転しており、厳しい環境にありますが、コスト増加に対する価格転嫁による持ち直しが窺われます。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	△30.5	△34.8	△17.4	△13.1
売上高D・I	△39.2	△17.4	4.4	—
収益D・I	△21.8	△39.1	△26.1	—

来期の見通しについて

食料品製造業で改善、その他の製造業で小幅低下を見込み、他の業種では横這いを予測しております。全体では、今期実績より小幅の改善が予想されますが、冴えない業況が継続される見通しです。

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

- ・社員の高齢化、経営者の成り手不足によりM&Aを急いでいる。
- ・経営状況から設備更新を先延ばしにしている。
- ・原材料（鋼材）の値上がりにより収益を圧迫している。価格転嫁を進めている。

経営上の問題点トップ3

	前年同期	今 期
第1位	売上の停滞・減少 56.5%	原材料高 52.2%
第2位	原材料高 39.1%	人手不足 売上の停滞・減少 30.4%
第3位	人手不足 34.8%	工場・機械の狭小・老朽化 仕入先からの値上げ要請 26.1%

(複数回答)

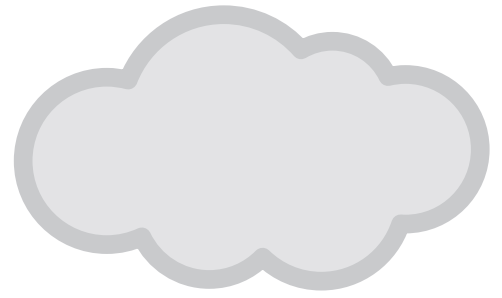
当面の重点経営施策トップ3

	前年同期	今 期
第1位	販路を広げる 65.2%	経費を節減する 60.9%
第2位	経費を節減する 人材を確保する 39.1%	人材を確保する 39.1%
第3位	新商品・技術を開発する 21.7%	販路を広げる 34.8%

(複数回答)



卸売業



概況

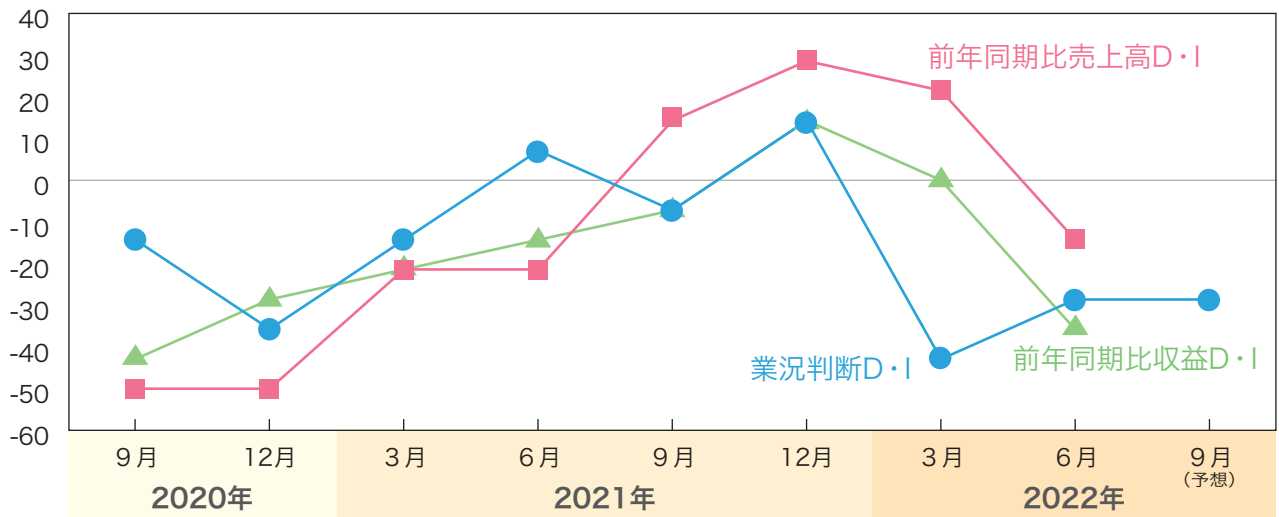
今期の業況判断指数(D・I値)は、△28.6と前期(1月～3月)に比べ14.3ポイント改善しました。建築材料卸売業で小幅低下しましたが、農畜産物・水産物、その他卸売業でマイナス圏を脱して大きく改善、全体の押し上げ要因となりました。売上D・I値、収益D・I値は共に悪化基調で、価格転嫁分を超える仕入価格の上昇により、低調な業況が続きました。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	7.1	△42.9	△28.6	△28.6
売上高D・I	△21.4	21.5	△14.3	—
収益D・I	△14.3	0.0	△35.8	—

来期の見通しについて

全業種において、当期実績並みの予測としており、全体では横這いの見通しです。

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント (聞き取りを含む) の一部

- ・仕入価格大幅に上昇。取引先との交渉を行っている。
- ・人員1名不足の状況が継続しており、様々な手段を講じているが補充できない。
- ・配送コストが上がり、燃料費も上昇してきた。価格への転嫁できるかがカギである。

経営上の問題点トップ3

	前年同期	今 期
第1位	売上の停滞・減少 57.1%	売上の停滞・減少 50.0%
第2位	仕入先からの値上げ要請 28.6%	人手不足 仕入先からの値上げ要請 35.7%
第3位	人手不足 利幅の減少 21.4%	取引先の減少 流通経路の変化による競争の激化 21.4%

(複数回答)

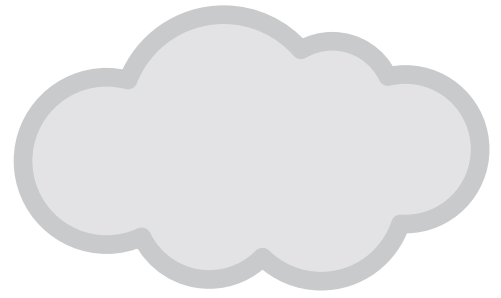
当面の重点経営施策トップ3

	前年同期	今 期
第1位	販路を広げる 57.1%	人材を確保する 57.1%
第2位	人材を確保する 42.9%	販路を広げる 50.0%
第3位	経費を節減する 35.7%	経費を節減する 35.7%

(複数回答)



小売業



概況

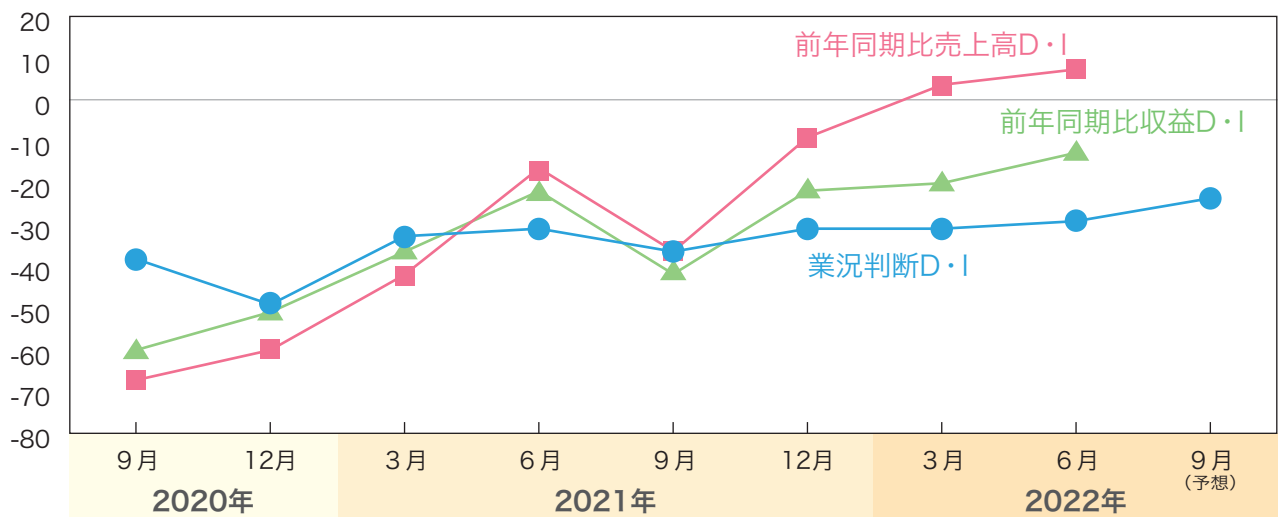
今期の業況判断指数（D・I値）は、△29.1と前期（1月～3月）並みとなり、低調な業況で推移しました。衣料品、飲食料品及び自動車・自転車小売業で改善しましたが、燃料、スポーツ関連及びその他小売業で下降しました。まん延防止法解除による消費需要の回復で売上D・I値は2期連続プラス圏を維持、収益D・I値もマイナス基調ながらやや改善されました。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	△30.9	△30.9	△29.1	△23.6
売上高D・I	△16.4	3.6	7.3	—
収益D・I	△21.9	△20.0	△12.7	—

来期の見通しについて

衣料品、飲食店、医薬品・化粧品及びスポーツ関連小売業で良化の見通しですが、自動車・自転車、燃料及びその他小売業では下降を見込み、全体では業況は下げ止まりの見込みです。

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

- ・コロナ禍は収束しつつあるが、依然贈答需要は乏しい。
- ・中国のロックダウン等で商品在庫の確保に不安がある。
- ・仕入先の業務停止の影響で薬の確保が難しくなった。

経営上の問題点トップ3

	前年同期	今 期
第1位	売上の停滞・減少 58.2%	商圏人口の減少 58.2%
第2位	商圏人口の減少 43.6%	売上の停滞・減少 45.5%
第3位	商店街の集客力の低下 23.6%	利幅の減少 20.0%

(複数回答)

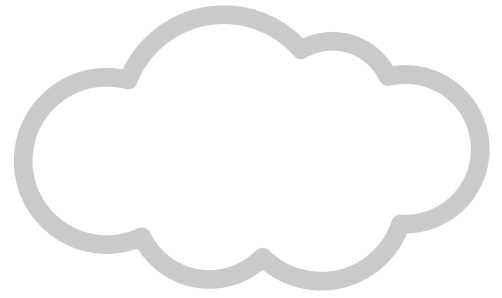
当面の重点経営施策トップ3

	前年同期	今 期
第1位	経費を節減する 58.2%	経費を節減する 56.4%
第2位	品揃えを改善する 30.9%	人材を確保する 売れ筋商品を取扱う 25.5%
第3位	売れ筋商品を取扱う 25.5%	品揃えを改善する 21.8%

(複数回答)



サービス業



概況

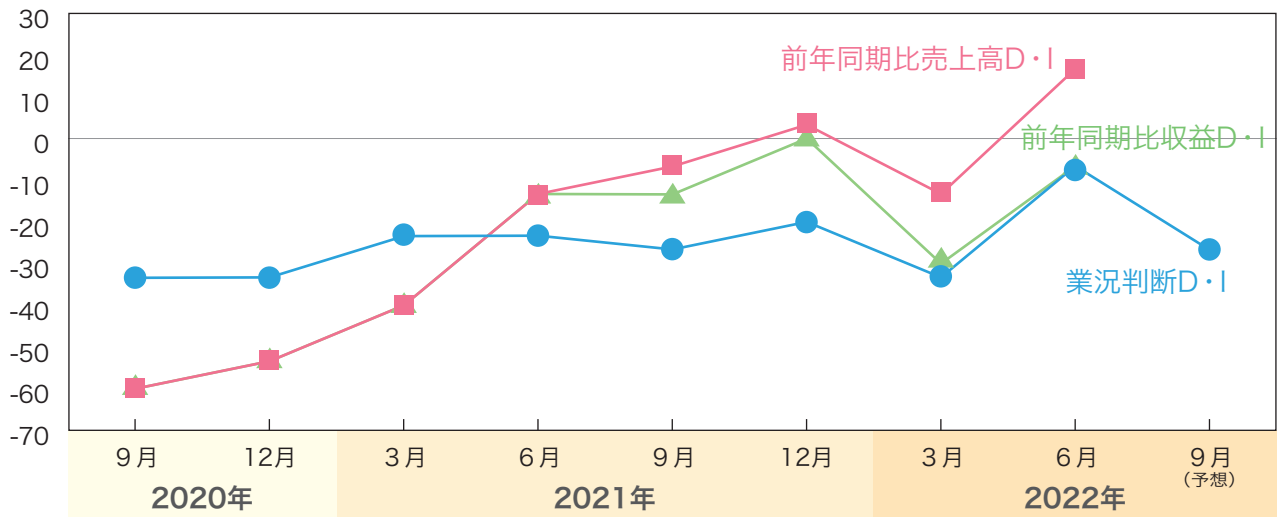
今期の業況判断指数（D・I値）は、△6.6と前期（1月～3月）に比べ26.7ポイントの改善となり、業況は回復の兆しが見えました。洗濯・理容・浴場、自動車整備及びその他のサービス業で好転し、全体の押し上げ要因となりました。まん延防止法解除により、主要指標の売上D・I値はプラスに転じ、連動して収益D・I値も改善されました。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	△23.3	△33.3	△6.6	△26.7
売上高D・I	△13.3	△13.3	16.7	—
収益D・I	△13.3	△30.0	△6.6	—

来期の見通しについて

その他サービス業では悪化、自動車整備業では商品調達遅延が懸念されやや下降見込で、全体では悪化の見込みです。

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

- ・子供へ事業承継を進めており、本年8月を目処にしている。
- ・半導体の品薄状態が続き、仕入量も減少、経営に影響出ている。
- ・仕入価格は安定しているが、車輻・部品等の調達遅延が発生している。
- ・大手との競争に対抗するため、広告・宣伝により一層、力を入れる。

経営上の問題点トップ3

	前年同期	今 期
第1位	売上の停滞・減少 50.0%	売上の停滞・減少 人手不足 材料価格の上昇 36.7%
第2位	商圏人口の減小 43.3%	商圏人口の減小 30.0%
第3位	同業者間の競争の激化 23.3%	人件費の増加 23.3%

(複数回答)

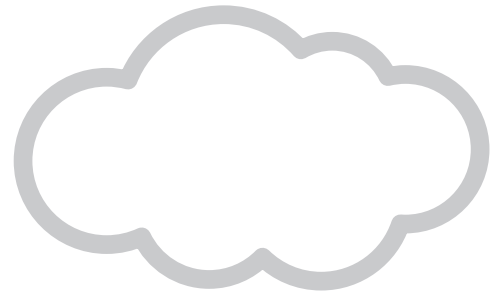
当面の重点経営施策トップ3

	前年同期	今 期
第1位	経費を節減する 80.0%	経費を節減する 53.3%
第2位	販路を広げる 技術力を強化する 30.0%	販路を広げる 36.7%
第3位	人材を確保する 23.3%	人材を確保する 30.0%

(複数回答)



建設業



概況

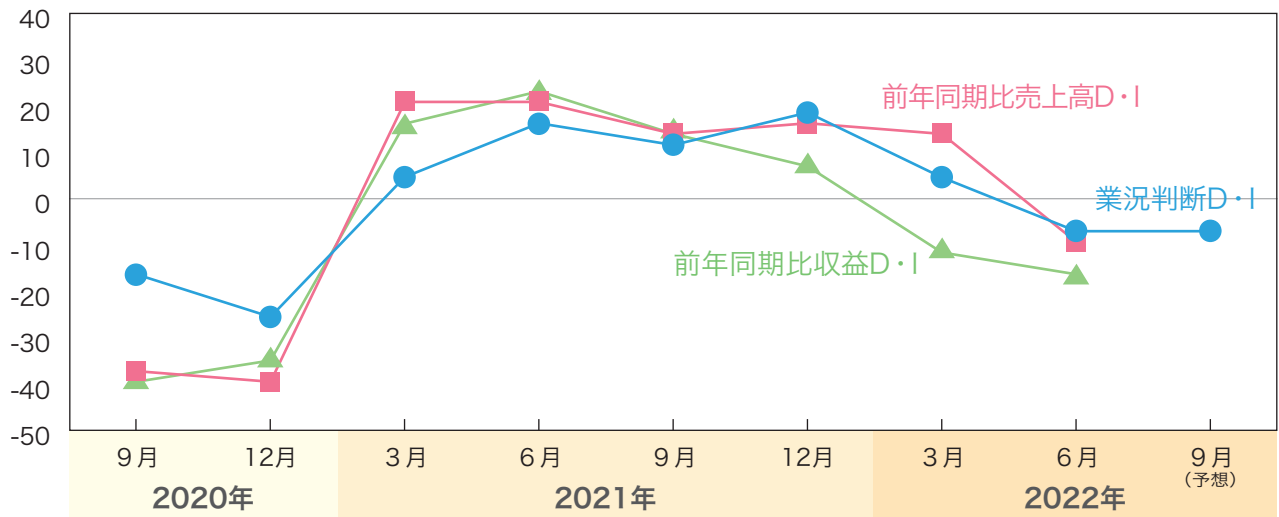
今期の業況判断指数(D・I値)は、△7.0と前期(1月～3月)から11.6ポイント悪化、特に設備工事業で△33.3ポイントの落込みとなり、全体では6期ぶりにマイナスへ転じました。建設需要の停滞、継続的かつ急激な仕入単価の上昇に価格転嫁が追い付かず、主要指標の売上高D・I値、収益D・I値ともに大きく落込みました。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	16.3	4.6	△7.0	△7.0
売上高D・I	20.9	14.0	△9.3	—
収益D・I	23.2	△11.6	△16.3	—

来期の見通しについて

設備工事業は現状維持を見込、総合工事業でやや下降、職別工事業では改善を予想しており、全体では横這いの見通しです。

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント (聞き取りを含む) の一部

- ・材料の入荷待ちで工事に入れない。受注はあるが、作業ができない。
- ・各種材料の仕入価格が上昇しており、収支圧迫している。業況については、現状安定している。
- ・木材価格高騰するも、それを上回る受注・売上がある。

経営上の問題点トップ3

	前年同期		今 期	
第1位	人手不足	46.5%	材料価格の上昇	67.4%
第2位	材料価格の上昇	30.2%	人手不足	58.1%
第3位	売上の停滞・減少	20.9%	同業者間の競争の激化	23.3%

(複数回答)

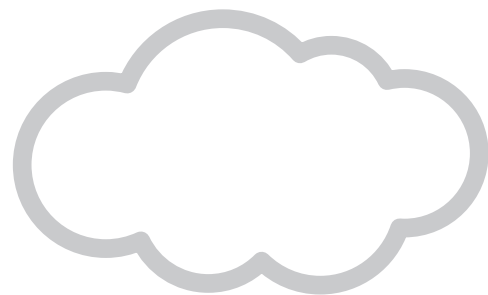
当面の重点経営施策トップ3

	前年同期		今 期	
第1位	経費を節減する 人材を確保する	44.2%	経費を節減する	60.5%
第2位	販路を広げる	25.6%	人材を確保する	55.8%
第3位	技術力を強化する	23.3%	技術力を強化する	34.9%

(複数回答)



不動産業



概況

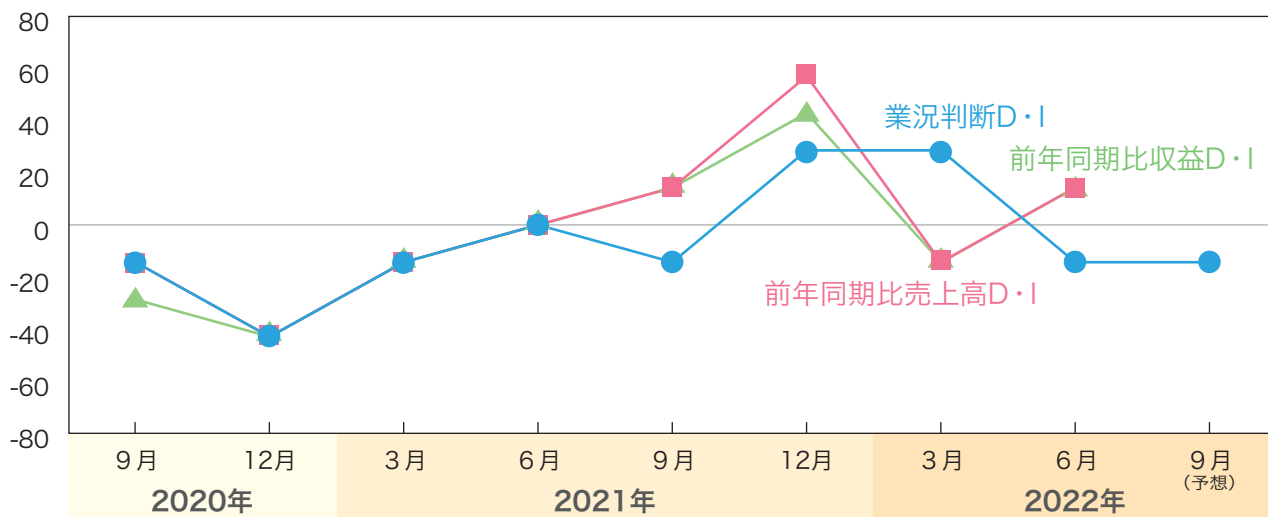
今期の業況判断指数(D・I値)は、△14.3と前期(1月～3月)からは42.9ポイント悪化し、3期振りにマイナスへ転じました。貸事務所、貸家業では前期の業況を維持したものの、不動産代理・仲介業で大幅な下降超過となりました。売上高D・I値及び収益D・I値はともに14.3となり、いずれも28.6ポイント改善しておりますが、貸事務所業の好転に起因しており、不動産代理・仲介業では、長期的な販売価格の下落、商品物件の縮小等の影響を受け、景況感が下降しました。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	-	28.6	△14.3	△14.3
売上高D・I	0.0	△14.3	14.3	-
収益D・I	0.0	△14.3	14.3	-

来期の見通しについて

貸事務所・貸家業では現状維持を見込み、不動産代理・仲介業では今期実績と同レベルのマイナス予測で、全体で冴えない業況の見通しです。

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント(聞き取りを含む)の一部

- ・コロナウィルスの影響はあるが、親会社の連携から、資金繰りに問題はない。
- ・情報の強化による収益上昇見込み。

経営上の問題点トップ3

	前年同期	今 期
第1位	商品物件の縮小 42.9%	商品物件の縮小 42.9%
第2位	同業者間の競争の激化 売上の停滞・減少 問題なし 28.6%	同業者間の競争の激化 28.6%
第3位	商品物件の高騰 14.3%	商品物件の高騰 売上の停滞・減少 28.6%

(複数回答)

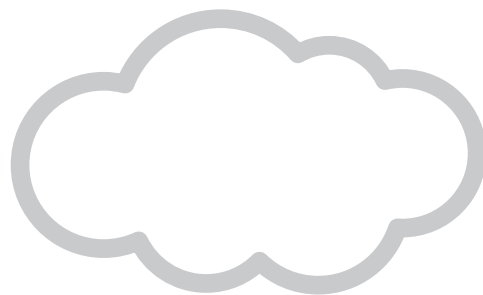
当面の重点経営施策トップ3

	前年同期	今 期
第1位	経費を節減する 71.4%	経費を節減する 71.4%
第2位	販路を広げる 宣伝・広告を強化する 28.6%	販路を広げる 57.1%
第3位	特になし	宣伝・広告を強化する 42.9%

(複数回答)



運輸業



概況

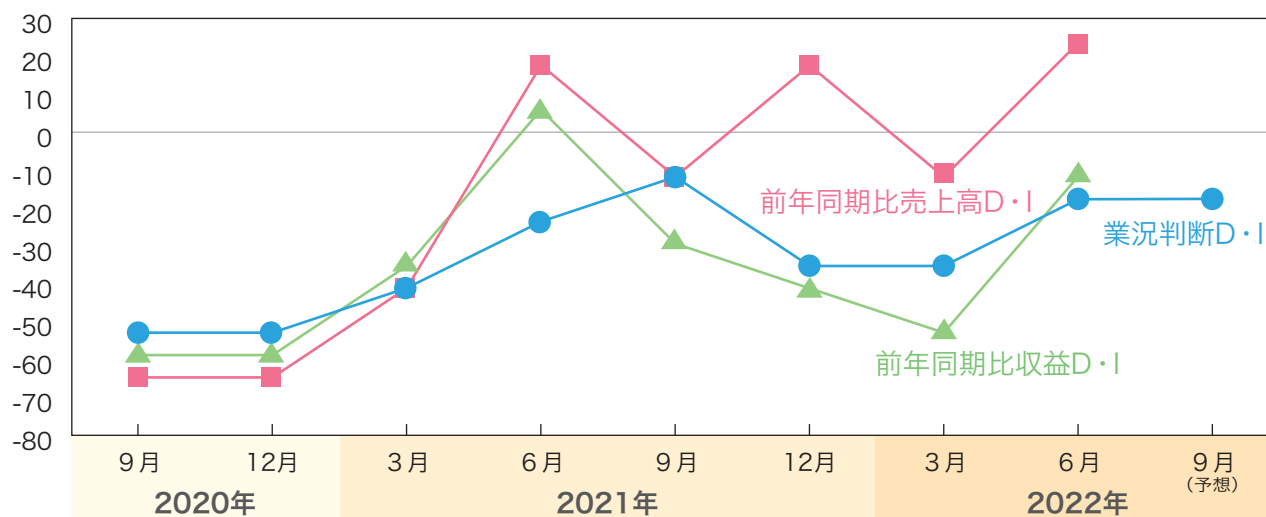
今期の業況判断指数（D・I値）は、△17.7と前期（1月～3月）から17.6ポイント改善したものの低調な業況は継続しました。まん延防止法解除後の人流及び物流の回復により、売上高D・I値は大きく上昇しました。連動して収益D・I値も好転しましたが、燃料価格高騰の影響や人材不足が加わり、厳しい状況が続きました。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
業況D・I	△23.6	△35.3	△17.7	△17.6
売上高D・I	17.7	△11.8	23.5	—
収益D・I	5.9	△52.9	△11.7	—

来期の見通しについて

貨物運輸・通運業で小幅改善を見込み、旅客・その他運輸通信業では今期実績並みが予想され、全体では横這いの見通しです。

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント（聞き取りを含む）の一部

- ・遊休不動産の売却を進めている。
- ・従業員の高齢化が進んでおり、技術者が減少傾向。人手不足の状態。
- ・札幌圏の豪雪で応援出動があり、業績を押し上げた。

経営上の問題点トップ3

	前年同期		今 期	
第1位	人手不足	58.8%	燃料価格の上昇	82.4%
第2位	燃料価格の上昇	52.9%	人手不足	64.7%
第3位	売上の停滞・減少 同業者間の競争の激化	35.3%	売上の停滞・減少	35.3%

(複数回答)

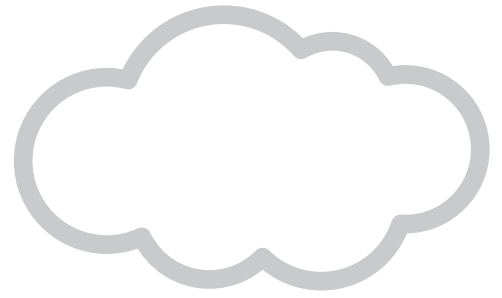
当面の重点経営施策トップ3

	前年同期		今 期	
第1位	経費を節減する	70.6%	経費を節減する	70.6%
第2位	販路を広げる	41.2%	販路を広げる	47.1%
第3位	労働条件を改善する	23.5%	情報力を強化する	29.4%

(複数回答)



農業

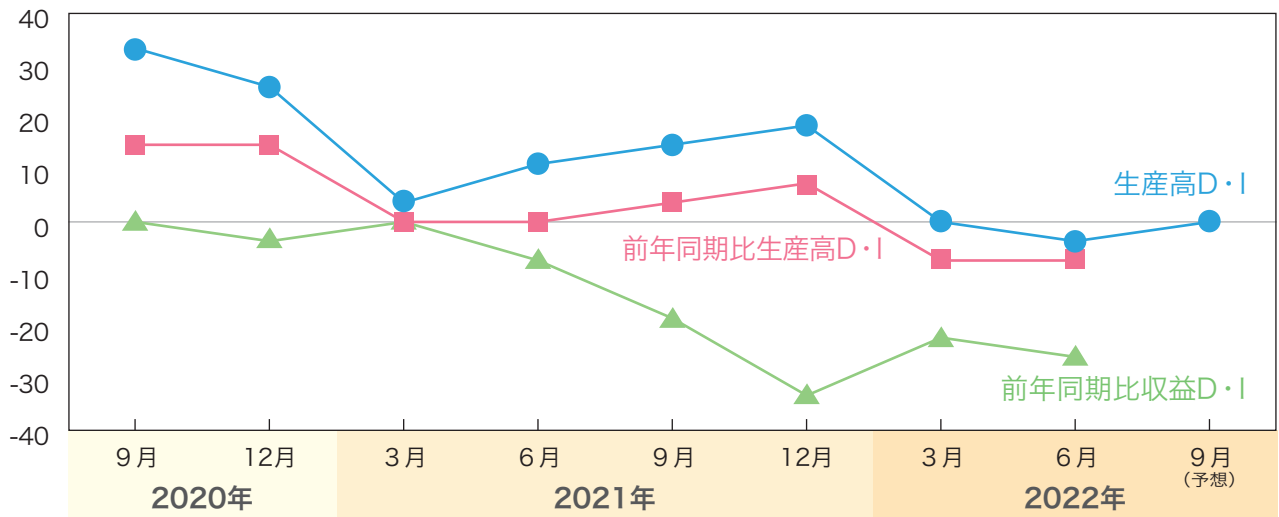


概況

生産高D・I値は、前期比3.7ポイント悪化しました。4月～5月は低気圧と高気圧が交互に通過、天候不順の中で、玉ねぎの移植作業は4月下旬より、水稻は5月中旬から始まり、いずれも平年並みに終了、大豆の播種作業は平年より早く終了しました。「米・秋まき小麦・玉ねぎ・大豆等」の生育は平年並みに推移しております。収益D・Iは△25.9となり前期比3.7ポイント悪化、2期連続のマイナス圏となりました。要因は、米価は低迷する一方で生産資材等の高騰が続いたものです。来期もウクライナ情勢の影響下で、厳しい状況が予想されます。また、水田利活用交付金制度については、参院選挙後の対応が注目されております。

	前年同期	前 期	今 期	見通し
生産高D・I	11.1	0.0	△3.7	0.0
前年同期比生産高D・I	0.0	△7.4	△7.4	—
収益D・I	△7.4	△22.2	△25.9	—

主要指標の推移



今回の調査企業先からのコメント (聞き取りを含む) の一部

- ・米価下落。コロナ禍はピークアウトしつつあり、外食産業の回復を期待する。
- ・肥料や種苗の価格高騰が続く、収益面の確保が難しくなっている。
- ・全国的に牛乳需要が減少している。個体販売についても価格低下しており、減収減益の傾向である。

経営上の問題点トップ3

	前年同期		今 期	
第1位	生産者価格の低迷	33.3%	経費の増加	55.6%
第2位	人手不足	29.6%	生産者価格の低迷	48.1%
第3位	品質競争の激化 機械・設備の老朽化	25.9%	人手不足 生産資材等価格の上昇	44.4%

(複数回答)

特別調査

混迷する経済社会情勢と中小企業経営 「コロナ、原材料価格高騰、海外情勢の緊迫化を受けて」

当金庫が今回実施致しました第144回中小企業景気動向調査と併せて（運輸業と農業を除く）172先について 混迷する経済社会情勢と中小企業経営「コロナ、原材料価格高騰、海外情勢の緊迫化を受けて」についてアンケート調査した結果です。

問1. 貴社では、最近の経済社会情勢について、特に懸念しているものはありますか。下記の1～0の中から最大3つまで選んでお答えください。

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1 原油・天然ガス等のエネルギーの価格高騰 | 6 日本と諸外国との関係 |
| 2 エネルギー以外の価格高騰 | 7 米中貿易摩擦 |
| 3 原材料の仕入れ不可能 | 8 戦争、紛争等がもたらす社会不安 |
| 4 コロナ長期化による需要急減 | 9 その他（ ） |
| 5 人手不足、人件費上昇 | 0 特に懸念しているものはない |

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総計
1 原油・天然ガス等のエネルギーの価格高騰	73.9%	42.9%	61.8%	70.0%	65.1%	28.6%	62.8%
2 エネルギー以外の価格高騰	47.8%	57.1%	49.1%	53.3%	60.5%	28.6%	52.3%
3 原材料の仕入れ不可能	8.7%	35.7%	27.3%	20.0%	32.6%	0.0%	24.4%
4 コロナ長期化による需要急減	8.7%	28.6%	34.5%	20.0%	11.6%	42.9%	22.7%
5 人手不足、人件費上昇	21.7%	35.7%	16.4%	36.7%	48.8%	14.3%	30.2%
6 日本と諸外国との関係	0.0%	7.1%	7.3%	3.3%	2.3%	0.0%	4.1%
7 米中貿易摩擦	4.3%	0.0%	7.3%	3.3%	2.3%	0.0%	4.1%
8 戦争、紛争等がもたらす社会不安	4.3%	0.0%	9.1%	10.0%	9.3%	28.6%	8.7%
9 その他（ ）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
0 特に懸念しているものはない	4.3%	0.0%	3.6%	3.3%	0.0%	28.6%	3.5%

(複数回答)

最近の社会情勢で特に懸念していることは、「原油・天然ガス等のエネルギーの価格高騰」が62.8%と最も高く、次に「エネルギー以外の価格高騰」52.3%、「人手不足、人件費上昇」が30.2%と続きました。業種別では、「原油・天然ガス等のエネルギーの価格高騰」を最も選択した事業先は、製造業73.9%、サービス業70.0%、建設業65.1%、小売業61.8%の4業種で、卸売業では「エネルギー以外の価格高騰」が57.1%で最も高くなっており、不動産業では「コロナ長期化による需要急減」42.9%と最も高くなっており、全体では「コロナ長期化による需要急減」は第5位の22.7%となり、コロナの沈静化が進む中で、エネルギー等の価格の高騰に先行きを不安視する実態が反映されました。

問2. 貴社では、最近の原油・天然ガスなどのエネルギー価格の上昇により収益にどのような影響を受けていますか。下記の1～7の中から1つ選んでお答えください。また、今後、省エネにつながる設備投資を実施する予定はありますか。下記の8～9の中から1つまで選んでお答えください。

- | | |
|--------------|-----------|
| 収益への影響 | 省エネの設備投資 |
| 1 危機的な悪影響がある | 8 実施予定がある |
| 2 かなり悪影響がある | 9 実施予定はない |
| 3 多少悪影響がある | |
| 4 ほとんど影響はない | |
| 5 むしろ好影響がある | |
| 6 わからない | |
| 7 その他（ ） | |

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総計	
収益への影響	1 危機的な悪影響がある	0.0%	0.0%	3.6%	0.0%	2.3%	0.0%	1.7%
	2 かなり悪影響がある	30.4%	35.7%	16.4%	30.0%	30.2%	14.3%	25.6%
	3 多少悪影響がある	60.9%	50.0%	60.0%	53.3%	60.5%	42.9%	57.6%
	4 ほとんど影響はない	8.7%	14.3%	16.4%	13.3%	4.7%	42.9%	12.8%
	5 むしろ好影響がある	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%
	6 わからない	0.0%	0.0%	1.8%	3.3%	2.3%	0.0%	1.7%
	7 その他（ ）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
省エネの設備投資	8 実施予定がある	4.3%	0.0%	3.6%	6.7%	9.3%	0.0%	5.2%
	9 実施予定はない	95.7%	100.0%	96.4%	93.3%	90.7%	100.0%	94.8%

エネルギー価格の上昇による収益への影響については、悪影響がある（危機的・かなり・多少を含む）と回答した事業先は84.9%に達していません。エネルギー価格の上昇により経営の中心課題は、どのように価格転嫁を図っていくかが求められています。省エネにつながる設備投資では、「実施予定がない」が94.8%を占めました。今回はこの理由を調査していないものの、併行した景況動向調査では、「設備は適正・85.2%」と回答されており、設備投資では対応できない事業先が多いことや先行き不透明感による設備投資意欲の減退等、環境は厳しいことも考えられます。

問3. 企業や団体などを標的としたサイバー攻撃による被害が数多く報告されています。貴社は、サイバー攻撃による被害を受けたことがありますか。下記1～3の中から1つ選んでお答えください。また、サイバーセキュリティを確保するため、人材を確保し、態勢を整備していますか。下記の4～7の中から1つ選んでお答えください。

- | | |
|------------------|-------------|
| サイバー攻撃による被害 | 人材の確保・態勢の整備 |
| 1 攻撃を受けて被害があった | 4 できている |
| 2 攻撃を受けたが被害はなかった | 5 できていない |
| 3 攻撃を受けたことはない | 6 わからない |
| | 7 当社には関係がない |

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総計	
サイバー攻撃による被害	1 攻撃を受けて被害があった	0.0%	0.0%	1.8%	3.3%	0.0%	0.0%	1.2%
	2 攻撃を受けたが被害はなかった	0.0%	7.1%	3.6%	3.3%	9.3%	0.0%	4.7%
	3 攻撃を受けたことはない	100.0%	92.9%	94.5%	93.3%	90.7%	100.0%	94.2%
小計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
人材の確保・態勢の整備	4 できている	21.7%	7.1%	48.3%	50.0%	85.7%	0.0%	40.6%
	5 できていない	39.1%	28.6%	51.7%	50.0%	14.3%	100.0%	40.6%
	6 わからない	21.7%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%
	7 当社には関係がない	17.4%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%
小計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

サイバー攻撃による被害があった事業先は1.2%で、「攻撃を受けたことはない」が94.2%に達しており、管内ではサイバー被害は少ない状況です。人材確保・態勢の整備では、「できている」と「できていない」は共に40.6%と並びました。「できていない」と「わからない」の計で53.1%となっており、事業先の半数以上で取組は万全とは言えない状況にあると思われます。業種別では、建設業で「できている」が85.7%と突出しており、取組は十分浸透している状況です。

問4. 経済社会情勢の混迷のなかで政府から賃上げが要請されていますが、貴社では、今春、賃上げを実施しましたか。実施した場合は、その理由について、最もあてはまるものを次の1～5の中から、賃上げを実施しなかった場合は、その理由について最もあてはまるものを次の6～0の中から1つ選んでお答えください。

賃上げを実施した理由

- 1 政府の賃上げ要請
- 2 自社の業績改善を反映
- 3 同業他社、地域他社の賃上げ
- 4 従業員の待遇改善
- 5 その他()

賃上げを実施しなかった理由

- 6 これまでに賃上げを実施済み
- 7 景気見通しが不透明
- 8 自社の業績状況
- 9 賃上げを検討したことがない
- 0 その他()

		製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総計
賃上げを実施した理由	1 政府の賃上げ要請	4.3%	0.0%	1.8%	3.3%	4.7%	14.3%	3.5%
	2 自社の業績改善を反映	4.3%	7.1%	3.6%	6.7%	0.0%	33.4%	3.5%
	3 同業他社、地域他社の賃上げ	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%	4.7%	0.0%	1.7%
	4 従業員の待遇改善	21.7%	42.9%	12.7%	23.3%	32.6%	28.6%	23.8%
	5 その他()	0.0%	0.0%	1.8%	3.3%	0.0%	14.3%	1.7%
	小計	30.4%	50.0%	21.8%	36.7%	41.9%	57.1%	34.3%
賃上げを実施しなかった理由	6 これまでに賃上げを実施済み	13.0%	35.7%	7.3%	16.7%	18.6%	14.3%	15.1%
	7 景気見通しが不透明	26.1%	7.1%	20.0%	16.7%	14.0%	0.0%	16.9%
	8 自社の業績状況	21.7%	7.1%	27.3%	16.7%	18.6%	14.3%	20.3%
	9 賃上げを検討したことがない	8.7%	0.0%	21.8%	13.3%	7.0%	14.3%	12.8%
	0 その他()	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%
	小計	69.6%	50.0%	78.2%	63.3%	58.1%	42.9%	65.7%

賃上げを実施した理由

賃上げを実施した事業先は、34.3%でした。理由は、「従業員の待遇改善」23.8%、「政府の賃上げ要請」、「自社の業績改善」が同率の3.5%の結果となっております。業種別では、不動産業が57.1%で最も高く、次に卸売業で50.0%、建設業が41.9%で続きました。

賃上げを実施しなかった理由

賃上げ未実施の事業先は、65.7%でした。理由は、「自社の業績状況」20.3%、「景気見通しが不透明」16.9%、「これまでに実施済み」15.1%の順となっております。業種別では、小売業が78.2%で最も高く、次に製造業で69.6%、サービス業が63.3%で続きました。

問5. 貴社では、コロナ禍を受けて、事業承継（M&Aを含む。）についての考え方に変化はありましたか。次の1～0の中から1つ選んでお答え下さい。

- 1 事業承継の方法に変更はない
- 2 事業承継の検討を始めた
- 3 事業承継の時期を早める
- 4 事業承継の時期を遅くする
- 5 事業承継の後継者を変更する
- 6 事業承継予定だったが、廃業を検討する
- 7 事業承継予定だったが、予定を白紙に戻した
- 8 廃業予定だったが、事業を継続する
- 9 その他()
- 0 事業承継について考えたことがない

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総計
1 事業承継の方法に変更はない	43.5%	71.4%	40.0%	46.7%	69.8%	57.1%	52.3%
2 事業承継の検討を始めた	17.4%	14.3%	9.1%	20.0%	4.7%	0.0%	11.0%
3 事業承継の時期を早める	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%
4 事業承継の時期を遅くする	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%
5 事業承継の後継者を変更する	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
6 事業承継予定だったが、廃業を検討する	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
7 事業承継予定だったが、予定を白紙に戻した	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%
8 廃業予定だったが、事業を継続する	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
9 その他()	8.7%	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%
0 事業承継について考えたことがない	26.1%	14.3%	45.5%	33.3%	25.6%	42.9%	33.1%

コロナ禍を受けて事業承継への考え方に対する事業先の回答結果は、「変更はない」が52.3%と最も高く、「事業承継について考えたことがない」33.1%、「検討を始めた」が11.0%の順となっております。業種別では、小売業を除く全業種でバラつきは見られるものの、「変更はない」が最も高い回答率となりました。小売業では「事業承継について考えたことがない」45.5%で最も高い回答率でした。

主要経済指標

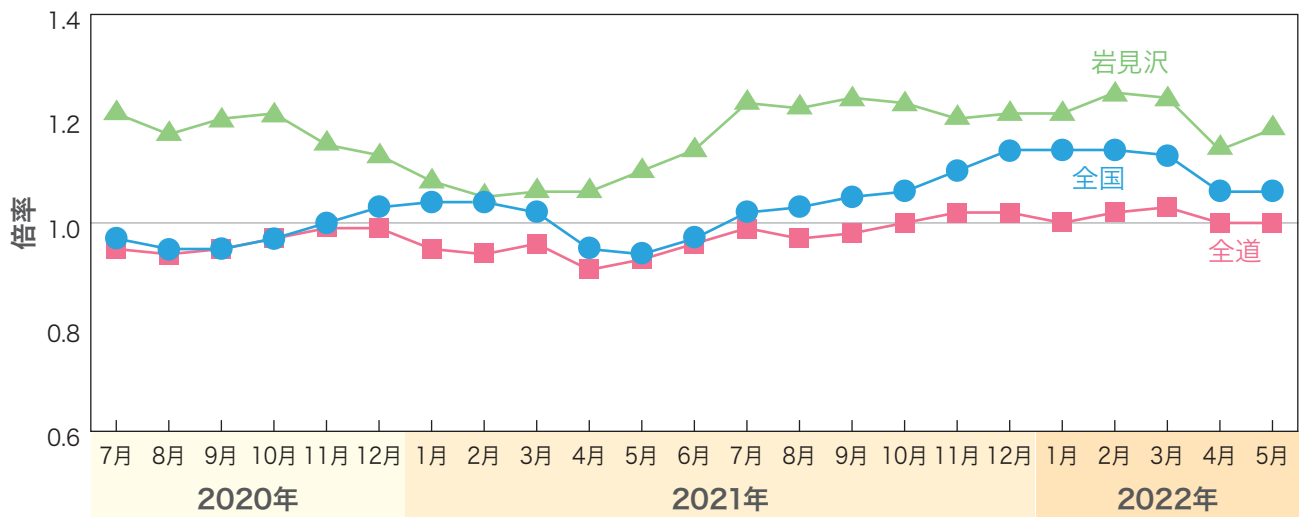
1. 空知管内・江別の人口動向

(人)

	2021年							2022年				
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
岩見沢市	78,706	78,658	78,566	78,419	78,338	78,223	78,124	77,971	77,875	77,503	77,518	77,421
美唄市	20,213	20,189	20,159	20,108	20,074	20,040	20,003	19,965	19,914	19,807	19,795	19,759
三笠市	8,029	8,012	8,007	7,982	7,977	7,954	7,930	7,936	7,880	7,876	7,895	7,853
栗山町	11,339	11,340	11,329	11,327	11,337	11,325	11,308	11,280	11,269	11,212	11,199	11,208
南幌町	7,389	7,397	7,394	7,387	7,393	7,383	7,379	7,384	7,378	7,366	7,391	7,394
由仁町	4,897	4,896	4,894	4,887	4,886	4,876	4,870	4,864	4,854	4,846	4,842	4,838
長沼町	10,405	10,392	10,387	10,376	10,357	10,343	10,337	10,316	10,326	10,282	10,260	10,242
江別市	119,718	119,672	119,664	119,777	119,740	119,717	119,712	119,621	119,535	119,126	119,439	119,396

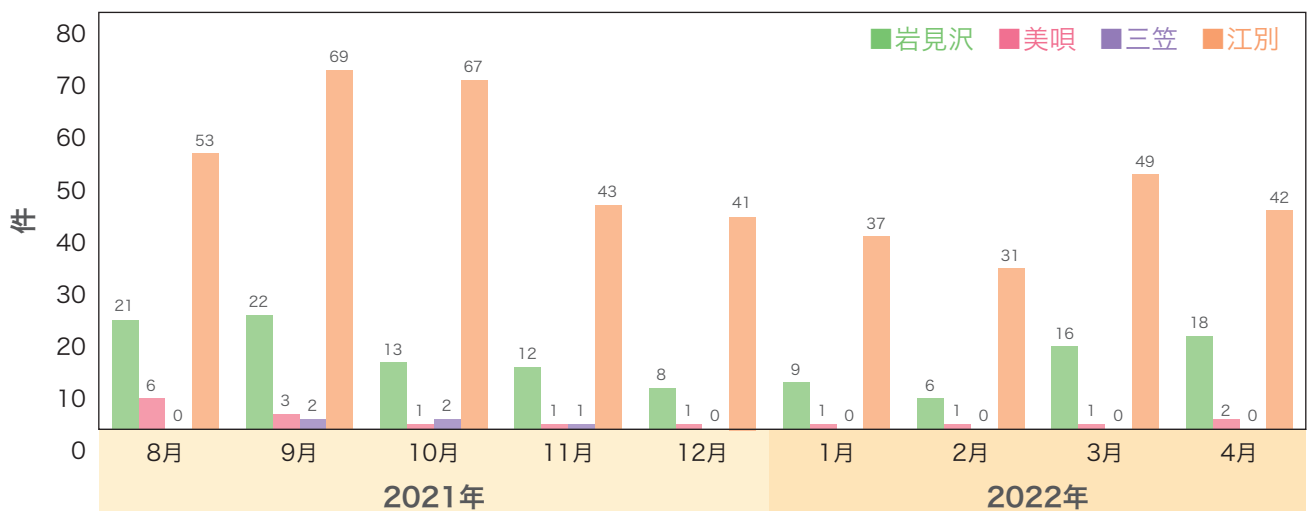
(資料：空知総合振興局)

2. 岩見沢管内の有効求人倍率



(資料：北海道労働局)

3. 建築確認申請数(4号) ※4号…木造2階建て以下の建築物

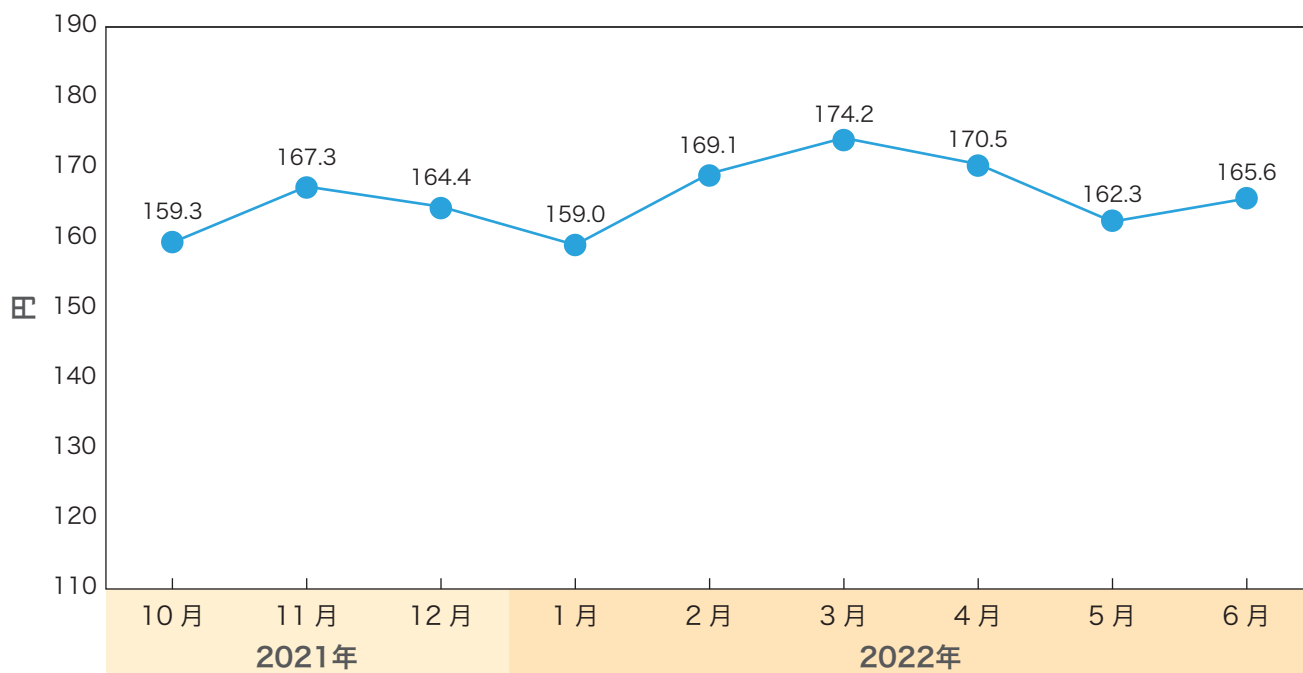


(資料：北海道建設新聞社)

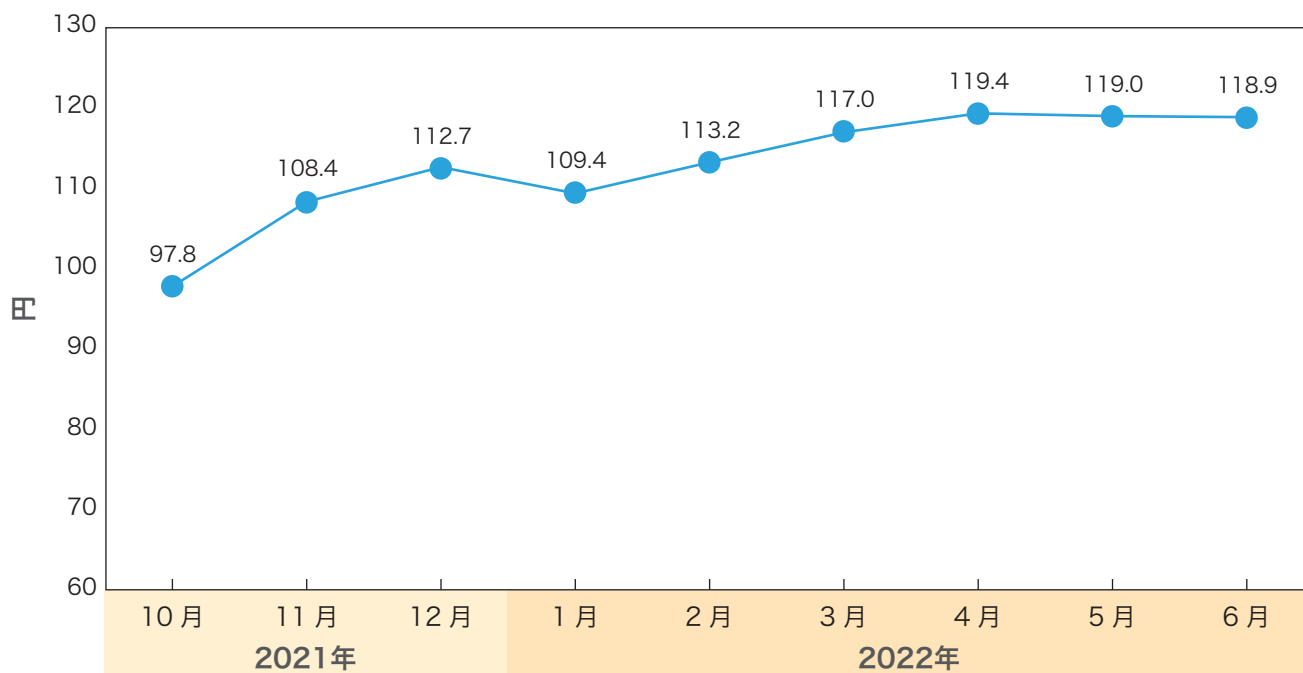
4. 管内のガソリン価格・灯油価格

(岩見沢市・美瑛市・三笠市・江別市・栗山町の平均を算出したもの)

① ガソリン



② 灯油



(資料：北海道消費者協会)

ビジネスマッチングコーナー

このコーナーでは、空知信用金庫のお取引先企業様をご紹介します。皆様の販路拡大やビジネスの連携をサポートする「誌上ビジネスマッチング」の場として、お役立てください。お問い合わせは、直接掲載企業もしくは、当金庫までご連絡ください。

(株)Kープランナー

取引店：本店

当社は、岩見沢市内にて海鮮居酒屋『仙堂』を営んでおります。

ランチ営業は、スープカレーを提供しているとともに、2022年秋に岩見沢市美園（国道12号線沿）にテイクアウト専用のスープカレー店を開業予定です。

また、本年6月5日に、北海道内初となるしょうが焼き専門店『柔（やわら）』をオープン（岩見沢市大和）。大きな反響をいただいております。

お近くにお越しの際は、海鮮居酒屋でごゆっくり、お昼はスープカレーにしょうが焼き、是非ご賞味くださいませ。



〒006-0853 仙堂：岩見沢市3条東1丁目8-3
柔（やわら）：岩見沢市大和1条5丁目1
担当者：糸田 健一 様
Tel 0126-25-1085 Fax 0126-25-1085
Hp iwamizawa.sendou.info
E-mail sendoiwamizawa@yahoo.co.jp

空知信用金庫の社会的取組

そらちしんきんでは、地域のお客様を直接サポートする機能強化を図るため、平成29年4月、地域支援室を立ち上げ、令和3年3月より地域支援部となりました。

地域支援部では、以下のような事業や取組みを行っております。

無人販売所「そらちしんきんマルシェ」の開催

当金庫は昨年1月にSDGsを宣言し、持続可能な地域社会創出に取組んでいます。その活動の一環として、新型コロナウイルスの影響を受けた事業者、生産者を応援するため、「そらちしんきんマルシェ」を令和2年度より開催しております。南空知各地の名産品、特産品の販売、また、観光PRなども行っております。各本支店にお越しの際は、是非ご覧くださいませ。

開催日程については随時、当金庫HP、または公式LINEにてお知らせいたします。



住宅ローン 特別金利

令和4年4月1日(金)～令和4年9月30日(金)

※募集総額が25億円に達し次第、募集を終了させていただきます。

お借入時年齢が50歳未満の方対象

充実した保障が
すべて金利上乘せ **なし**

※保険会社の判断により加入できない場合があります。(保険料は当金庫が負担)

ご返済期間は**最長40年** ※保証会社の判断により短縮する場合があります。

変動金利型 新規受付利率

年 **0.65%** (※)
～年 **0.75%**

固定金利期間選択型 新規受付利率

固定金利特約期間 **10年**
年 **0.80%** (※)
～年 **0.90%**

固定金利期間選択型については固定金利期間終了後は、ご返済まで店頭基準金利から**年1.50%優遇**いたします。

スマホで簡単申込み WEBで住宅ローン

事前審査お申込みが **2ステップ** で簡単に!!

ステップ1 空知信用金庫の
ホームページにアクセス

そらち信金で検索

そらち信金

事前審査
お申込み **365日・24時間対応**

スマホの方は
こちらから



ステップ2 サイト内の住宅ローン受付に
必要事項を入力

当金庫ホームページ内の住宅ローンWEB受付のお申込み欄
に必要事項をご入力していただき、事前審査お申込み完了!!
事前審査結果は後日お知らせいたします。

※しんきん保証基金保証付住宅ローンのみ

事前審査後の本申込みは営業店にて受付いたします

対象者 / 返済時年齢満80歳以下の方。
団体信用生命保険にご加入できない場合は、0.30%をご融資利率に上乘せします。

ご融資金額 / 1億円以内

ご融資期間 / 40年以内

担保 / ご融資物件に抵当権を設定します。

保証 / (一社)しんきん保証基金または全国保証㈱の保証。

保証料 / 保証会社の保証料についてはお借入時一括または保証会社が定める保証料率をご融資利率に上乘せした毎月払とします。(一括払いの例) ご融資金額100万円、お借入期間25年の場合、7,891円～152,188円(毎月払いの例) 保証料率年0.07%～0.40%
手数料 / お借入時年齢が(50歳未満の場合)保証付住宅ローン事務取扱手数料(お借入金額に応じて)55,000円～220,000円(税込)、(50歳以上の場合)不動産担保事務取扱手数料49,500円(税込)(年齢に関わらず)全国保証㈱の保証で保証料一括払の場合は取扱手数料55,000円(税込)。
また、繰上返済や返済条件変更の場合は当金庫所定の手数料がかかります。

※ご返済額の試算につきましては店頭へお問い合わせください。

※店頭に説明書をご用意しております。詳しくは窓口までお問い合わせください。

※固定金利特約期間満了後は、「キャップ(上限利率)付変動金利型」となりますが、ご希望により再度「固定金利期間選択型」を選択することができます。なお、固定金利選択期間中は、「変動金利型」や「全期間固定金利型」、あるいは他の固定金利特約期間への変更はできません。

※「変動金利型」から「固定金利型」、「固定金利期間選択型」に変更する際は条件変更手数料11,000円(税込)がかかります。また「全期間固定金利型」からは「変動金利型」あるいは「固定金利期間選択型」への変更はできません。

※当初お借入金利は、お申込時点の金利が適用されます。また、金利情勢の変化により、受付期間中に金利を見直しすることもございます。

LINEでそらちしんきんと友だちになろう!

様々な情報をLINEでお届け!



店舗・ATMのご案内

店 舗

						ATMご利用時間		
						●平日	●土曜日	●土・日・祝日
岩見沢市内店	本 店	〒068-8660	岩見沢市3条西6丁目2番地1	TEL 0126-22-1150	8:45~19:00	9:00~17:00		
	鉄北支店	〒068-0042	岩見沢市北2条西11丁目1番3号	TEL 0126-24-6233	9:00~18:00	-		
	日の出支店	〒068-0824	岩見沢市日の出北4丁目2番17号	TEL 0126-25-4555	9:00~18:00	-		
	美園支店	〒068-0814	岩見沢市美園4条5丁目1番10号	TEL 0126-24-6363	9:00~18:00	-		
	幌向支店	〒069-0371	岩見沢市幌向1条2丁目112番地1	TEL 0126-26-2021	9:00~18:00	9:00~17:00		
南空知管内	栗沢支店	〒068-0127	岩見沢市栗沢町本町55番地1	TEL 0126-45-2324	9:00~18:00	9:00~17:00		
	美唄支店	〒072-0023	美唄市大通西1条南1丁目3番6号	TEL 0126-62-7511	9:00~18:00	9:00~17:00		
	三笠支店	〒068-2153	三笠市幸町12番地7	TEL 01267-2-2383	9:00~18:00	9:00~17:00		
	栗山支店	〒069-1511	夕張郡栗山町中央3丁目3番地	TEL 0123-72-0208	9:00~18:00	9:00~17:00		
	由仁支店	〒069-1297	夕張郡由仁町本町148番地	TEL 0123-83-2011	9:00~18:00	-		
札幌市・江別市内	長沼支店	〒069-1332	夕張郡長沼町中央南1丁目1番12号	TEL 0123-88-2131	9:00~18:00	-		
	南幌支店	〒069-0237	空知郡南幌町栄町1丁目3番1号	TEL 011-378-2311	9:00~18:00	9:00~17:00		
	札幌支店	〒060-0001	札幌市中央区北1条西6丁目2番地	TEL 011-271-3421	9:00~18:00	-		
	札幌北支店	〒001-0024	札幌市北区北24条西6丁目1番5号	TEL 011-757-3435	9:00~18:00	-		
	琴似支店	〒063-0812	札幌市西区琴似2条3丁目1番12号	TEL 011-644-4422	9:00~18:00	-		
	白石支店	〒003-0026	札幌市白石区本通5丁目南4番36号	TEL 011-862-7766	9:00~18:00	-		
	平岸支店	〒062-0932	札幌市豊平区平岸2条9丁目2番11号	TEL 011-831-8555	9:00~18:00	-		
	厚別支店	〒004-0065	札幌市厚別区厚別西5条2丁目1番27号	TEL 011-895-2111	9:00~18:00	-		
	札幌西支店	〒063-0061	札幌市西区西町北20丁目3番10号	TEL 011-666-8111	9:00~18:00	-		
	札幌東支店	〒065-0019	札幌市東区北19条東16丁目1番8号	TEL 011-783-3611	9:00~18:00	-		
江別支店	〒067-0074	江別市高砂町8番地3	TEL 011-383-1011	9:00~18:00	9:00~17:00			

店舗外ATMコーナー

				ご利用時間	
				●平日	●土・日・祝日
岩見沢市	J R 岩見沢 駅 (共同ATM)	岩見沢市有明町南		9:00~21:00	9:00~21:00
	ビッグハウス岩見沢店 (共同ATM)	岩見沢市大和1条9丁目		9:00~21:00	9:00~21:00
	イオン岩見沢店	岩見沢市大和4条8丁目		9:00~19:00	9:00~17:00
	本店 春日出張所	岩見沢市春日町2丁目2番22号		9:00~17:00	-
	一条出張所	岩見沢市1条西1丁目		9:00~17:00	-
	であえーる岩見沢 (共同ATM)	岩見沢市3条西4丁目		9:00~19:00	9:00~18:00
	岩見沢市役所	岩見沢市鳩が丘1丁目		9:00~17:30	-
	岩見沢市役所 北村支所 (共同ATM)	岩見沢市北村赤川593番地の1		9:00~17:00	-
	北海道中央労災病院	岩見沢市4条東16丁目		9:00~17:00	-
	三笠市	イオンスーパーセンター三笠店	三笠市岡山1059番地の1		9:00~19:00



第144回地域企業景気動向調査
景況レポート 2022.7
発行 2022年7月31日

〒068-8660 岩見沢市3条西6丁目2番地1
空知信用金庫 地域支援部
TEL 0126-22-1171
<http://www.shinkin.co.jp/sorachi/>